

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第8回高士区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的な審議（公開）

- ・自主的な審議事項について

3 開催日時

令和7年12月18日（木）午後6時30分から午後7時27分まで

4 開催場所

高士地区公民館 大会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）

- ・委 員：上野副会長、上野(美)委員、塩尻委員、高橋会長、田中委員、
塚田(誠)委員、馬場委員、日向副会長、保坂委員、山口委員、山本委員
(欠席1名)

- ・事務局：中部まちづくりセンター 井守所長、村山副所長、渡邊係長、鈴木主事

8 発言の内容（要旨）

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【高橋会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・挨拶

【村山副所長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【高橋会長】

- ・会議録の確認：山口委員に依頼

次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を求める。

【鈴木主事】

11月の委員研修について、開催結果を報告する。

- ・資料1に基づき説明

【高橋会長】

ただ今の報告について、質問、意見はあるか。

(発言無し)

それでは、当日参加いただいた委員から感想を述べていただく。

【上野(美)委員】

ファミリー綱引大会の後の開催だったので、和気あいあいとした会でとても良い意見をたくさん聞けた。困っていることや助かることなどの意見が聞け、とても良い場だった。また機会があれば、こういう会があると、いろいろな意見が聞けて良いと思う。楽しいひとときになった。

【保坂委員】

私の家の近所にも子供がいるが、ほとんど外に出て遊ばないので、家で何をしているのか気になっていた。聞いてみると、子供が少なく近くに遊び相手がいなかったこと。遊ぶ場所も無いが友達もいない。子供が少ないというのは、そういうことだと改めて理由が分かった。このような機会に初めて参加したが、いろいろな問題があることをお母さんの言葉で聞けた。私も子育てが終わりもう何十年も経つが、また新たな問題がたくさんあると感じた。

【日向副会長】

ファミリー綱引大会の後の会で、かしこまっておらず、話に花が咲いてしまい、時間が足りないぐらいだった。私にも小学生の子供がいるが、低学年の子供とはなかなか交流がないので初めて聞く話もあった。

高士小学校は制服で、制服も体操着も高価。かといって私服にするかということ、その方がもっとお金がかかる。制服の良さもあるが、やはり成長してサイズが変わっていくので、お金がかかる。今年のふるさと高士まつりで、不要な制服を必要な方に譲渡する

会が初めて開催された。実際、困っていることはたくさんあるが、なかなか声を聞けないので、良い機会だった。これから中学に進級する方ばかりで、私にも中学生の子供がいるので、いろいろな情報を共有できて有意義な会だった。皆さんからまたこのような場を設けて欲しいという声を聞いたので、地域協議会で協議できればと思う。

【高橋会長】

まずは事務局の進行がとても良かった。いろいろな問題が提案されていたが、限られた時間の中で上手く仕切っていただき感謝する。

次に、日向副会長の存在。参加者の皆さんは、小学校から中学校に進学する子供を持つ保護者の不安や心配を日向副会長に質問していて、的確にアドバイスされていた。不安材料は一つでも二つでも取り除いた方が良く、直接聞いたことは非常に良かった。

先ほど、身近に遊ぶ場がない、仲間がいないという発言があった。そのことから、公民館や町内会館等の活用の必要性をととても感じた。それには管理や運営方法等、いろいろな問題があると思うが、身近なコミュニティとして良い存在になるかもしれない。

以上で感想の発表を終了する。

次に、「令和 7 年度高土区地域協議会アンケートの集計結果の分析」について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

・資料 2 に基づき説明

委員の皆さんの意見を伺い、分析結果として最終的なまとめとする。結果は、地域協議会だよりで配布するほか、市ホームページで公開し、地域の皆さんにお知らせする。

また、町内会長の皆さんからご回答いただいたので、分析結果をお伝えする。来月の市からの町内会長宛ての便に今回の分析結果を同封し、結果報告とさせていただく。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

(発言無し)

この形で進めることとする。

【高橋会長】

これまで、自主的審議のテーマ設定に当たり、「コミュニティ」「子育て」「人口減少」の 3 つの分野について、皆さんが考える仮説の課題と地域の方が考える課題に違いが生じないように、地域の方のご意見を伺ってきた。アンケートの分析と子育て世帯との

座談会の振り返りを終え一段落したので、今後の自主的審議の進め方について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

3つの分野について、皆さんが考える仮説の課題と地域の方が考える課題に違いが生じないよう、検証してきた。それぞれの課題に対し、「町内会」「子育て世帯」「行政」に確認した事項を整理した資料が資料3である。

・資料3に基づき説明

以上のことから、仮説の課題と地域の考えに相違ないことが確認できた。

今後は、自主的な審議のテーマを決め、実際に取り組んでいくことになるが、課題の解決までの時間を考えると、全てのテーマに取り組む時間はない。そこで、テーマを一つに絞り、今後協議していくことを提案したい。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

【上野副会長】

今年度で任期の2年目が終わる。来年度は3年目、4年目には結果を出さなければならぬので、3つを行うことは非常に難しい。したがって、一つに絞るべきではないか。

【高橋会長】

他に、質問や意見はあるか。

(発言無し)

事務局からテーマを絞ることについて、提案があったが、テーマを一つに絞ることとしてよいか。

(よしの声)

テーマを一つに絞ることとする。

続いて、テーマの絞り方について、事務局へ説明を求める。

【鈴木主事】

審議テーマを絞るに当たり、3つのテーマのうち、人口減少については、高士区に限ったものではなく、大きな社会的な課題であり、他の2つのテーマであるコミュニティ、子育てに取り組む中でも関わってくるものでもあるため、正副会長と事前に協議した結果、こちらはあらかじめテーマから外させていただきたい。

そして、残った2つ、どちらのテーマについて今後話し合いを進めていくか、皆さん

のご意見をお聞きし、決めていきたい。

一つ目は、取り組むテーマをコミュニティとする。コミュニティは、地域のコミュニティのほか、子育てや農業など他のテーマにも関わってくるものであり、まずは大枠として、コミュニティに取り組むとするもの。

二つ目は、取り組むテーマを子育てとする。アンケートで確認した少子化を心配する声や、子育て世帯から聴いた話を踏まえ、テーマを子育てに絞る。子育て世帯からも「子育ての先輩から話を聞く場がほしい」とあったように、コミュニティにも関係する。

こちらの2案について、どちらがよいか協議いただきたい。

本日、取り組むテーマを決定し、次回以降は、自主的審議のテーマ名の検討をした上で、課題の解決策の検討へ入っていく。

【高橋会長】

ただ今の説明について、質問や意見はあるか。

(発言無し)

事務局から二つの方法が提案された。人口減少をテーマから外すことでよいか。

(よしの声)

それでは、人口減少をテーマから外すこととする。

コミュニティと子育てのどちらがよいか、一人ずつ意見を伺いたい。

【山本委員】

私は、子育てを選択する。理由は、アンケートの集計結果を見ると小学生がとても少ないことと、中学進学後の送迎も本当に困ったが、私は同居の母や実家の母にも協力してもらい、何とかなった。やはり冬が大変で、高土区だけではなく、他の学区の方も雄志中に行くだけでも本当に一苦労だ。バスで通学させたこともあったが、降りてから、とても長い道を歩く。防寒着も今の中学生は恥ずかしがって着ない。体操着で登校してしまう。自分の時もそうだったので仕方がないと思うが、やはり子育て中の保護者の方たちに協力してあげたい。送迎バスなどがあると便利なのではないか。核家族も多く、祖父母も年齢とともに送迎も辛くなってくるので、それを当たりと思ってはいけない。何とかしてあげたいと思う。

【山口委員】

私もどちらかというと子育て。子育てについては詳しくないが、これからを担っていてももらわないと困る人なので、大事にしてあげたいと思う。

あとは、やはり登下校について、特に保護者は大変である。政府の方で検討してもらい、保護者の負担を軽くすることも必要。

【保坂委員】

中学校ではスクールバスを運行していない。牧中学校と統合するに当たり、スクールバスを行政としても検討していると思うが、路線バスではなく、学校までのバス。17 時以降、学校に居られないなら、それも含めて行政側に検討してもらいたい。

【馬場委員】

子育てもとても大事なことだが、ここで話し合っても進んでいかないのではないかという思いが強い。牧区の話を見ると、13 区には通学バスがあるので、牧区はそれを利用できるのではないか。高齢者の多い高土区に住んでいるので、私はコミュニティを実行可能な方法で検討できればと考える。

【塚田(誠)委員】

子育ても重要だが、私もコミュニティを選ぶ。送迎バスもコミュニティの中でも活用できると思う。どこかに行く時も、バスがあれば乗り合いで行ける。町内の行事や中学校の送迎にも利用でき、子育ての問題にも活用できる。

【田中委員】

私も子育ては、とうの昔に卒業しているが、今は孫たちの送迎をしている。小学校は学年で下校時間が違うので、迎えに行かなければいけない。仕事をしていた時は放課後児童クラブを利用して、開設時間の 18 時に間に合うように迎えに行っていた。今は仕事をしていないので、児童クラブが利用できなくなり、それぞれの下校時間に合わせて迎えに行かなければならない。迎えに行かないと先生から連絡が来る。今はまだ自分で迎えに行けるが、これから中学生になれば距離も遠くになり、私もいくつまで送迎ができるか。その現状についても考えてもらいたい。

コミュニティも、今は町内で集まることがほとんど無くなり、集まっても一家で一人、代表者が集会に参加するだけで、他に集まる機会はまず無い。今後どうしていきべきか考えなければならない。

【塩尻委員】

私の時は、子供の送迎は保護者が行っていた。出勤時間に合わせると早く着いてしまうので、途中で降ろして歩いて行くなどして時間を調整していた。スクールバスを検討するのも大切なことだが、405 号線を通るバスに朝と夕方、雄志中学校経由の路線を要請

してみてもどうか。夕方は下校時間がまちまちなので確認が必要だが、そのような方法もある。コミュニティも大切だが、その一点に絞ってはどうか。

【上野(美)委員】

コミュニティの中に子育ても含まれていて、子供たちの小さい頃からの関わりにもつながっていると思う。子育ての環境を整えることとコミュニティはつながっているところがあると考え、私はコミュニティを選択する。

【上野副会長】

コミュニティについての協議の中で、子育ての話も出てくると思う。逆に、子育てに関する協議から、コミュニティには発展していかない気がする。したがって、コミュニティをまずテーマとして取り上げて協議し、その中でコミュニティのほかに、子育てや農業などのテーマも関わってくると判断するため、コミュニティを選択する。

【日向副会長】

私はまさに今、子育て中で、皆さんから送迎が困っていることなどを聞いている。地域協議会の話し合いでも、問題点はやはり出てきて、子育ての関係のことも含まれている。私もコミュニティは大切だと思うので、そこから考えて広めていきたいと考える。確かに子供も人数が少なく、大事にしなければならないが、高士区は高齢者が非常に多く、その方たちにとっても最後まで住みやすい地域でないといけない。コミュニティについて協議する中から、子育てについての課題も絶対に出てくると思う。そこから出てくる問題を一つずつ解決したいが、やはり一つに絞った方が良いので、コミュニティを選択する。

【高橋会長】

私もコミュニティを選択する。やはり地域に住む人々のつながりが、一層の少子高齢化により、大変になってくる。それについて、高士区全体で考えてもらうようなテーマの方が重要と感じる。居場所づくりや世代間交流などの多くの課題もあり、先を見越した中での活動、提案ということで、コミュニティを選択する。

今、皆さんから意見を伺った。中には迷っている方もいるが、この二つのテーマは重要であり、今回は一つに絞り方向性を明確にする。

コミュニティに関する意見が多数であったと捉え、テーマをコミュニティにしてよい。

(よしの声)

テーマはコミュニティと決定する。次回以降は、テーマ名の検討へ移ることとする。
以上で、次第3 議題「自主的な審議」の「自主的審議事項について」を終了する。
次に、次第4 その他「(1) 次回開催日程」に入る。事務局の説明を求める。

【村山副所長】

- ・ 次回の協議会について説明

— 日程調整 —

- ・ 次回の地域協議会：1月22日（木）午後6時30分から
高士地区公民館 大会議室（予定）

【高橋会長】

以上で次第4 その他「(1) 次回開催日程」を終了する。

次に、次第4 その他「(2) その他」に入る。

その他、何かあるか。

【塚田(誠)委員】

- ・ 高士ルミネについて告知

【高橋会長】

他に何かあるか

(発言無し)

【上野副会長】

- ・ 閉会の挨拶

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。